

EFX MK-VI

Audio Controller

オーナーズ・マニュアル
Version 1.01

MusicomLAB

目次

1. はじめに	3
1.1 主な特徴	4
1.2 スペシフィケーション	4
1.3 ブロックダイアグラム	5
1.4 フロントパネル	5
1.5 リアパネル	6
1.6 LCD ディスプレイ	7
1.7 スイッチ周りのキャラクター	7
2. プリセットモードのベーシック操作	8
2.1 パワーアップ（電源投入）	8
2.2 ページ 1	8
2.3 ページ 2	9
2.4 ページ 3	9
2.5 ページ 4	10
2.6 ページ 5	10
3. セットモード	11
4. セットアップモード	12
4.1 プリセット	13
4.1.1 MIDI	13
4.1.2 XPDL	14
4.1.3 BPM/Volume	15
4.1.4 ループオーダー	15
4.2 ソング / セット	18
4.2.1 ソングのエディット	18
4.2.2 エディットセット	19
4.3 スイッチ	20
4.3.1 プリセットスイッチとしてアサインする	21
4.3.2 IA スイッチとしてアサインする	22
4.3.3 他のスイッチとしてアサインする	22
4.4 タイトル	23
4.4.1 プリセットタイトル	23
4.4.2 ソングタイトル	23
4.4.3 セットタイトル	24
4.4.4 デバイスタイトル	24
4.4.5 ページタイトル	24
4.4.6 スイッチタイトル	25
4.5 グローバル	26
4.5.1 MIDI	26
4.5.2 オーディオ	28
4.5.3 その他	29
4.6 ユーティリティ	30
4.6.1 プリセットコピー	30
4.6.2 ソングコピー	30
4.6.3 セットコピー	30
4.6.4 スイッチコピー	31
4.6.4 ファクトリーセット	31
4.6.4 システムインフォメーション	31
5. フームウェアアップデート	32
6. ケーブル	33
6.1 XPDL	33
6.2 ファンクションスイッチ	33
7. 接続例	34
8. MIDI スペシフィケーション	36

1. はじめに

この度は MusicomLAB の EFX MK-VI オーディオ・コントローラーをご購入いただき、ありがとうございました。本機は非常に多くの機能をカバーするプロ用スイッチング・システムです。組み上げられるシステムが素晴らしいサウンドに仕上がるよう、本機の機能をフルに活用していただければ幸いです。

本マニュアルは、モードごとにプログラミングがわかりやすく説明されています。目次を活用して必要なセクションをよく読んでください。

本機の性能を十分発揮させると共に、末永くご愛用いただきため、必ずご使用前にこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用になる前に、本機の性能をトラブルなく十分に発揮できる様、以下の説明を必ずお読みください。

■ 品質保証に関して

本機は、Musicom LAB 日本総代理店 株式会社HOTONE Japanがご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店に御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。また、全ての商品には、シリアルナンバーが登録されています。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いてご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないでください。
3. 本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼ください。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けてください。

▲警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

■ 電源ソース

電源は、DC9V / 250mA 以上（センター・マイナス）の電源アダプターに接続してください。エアコン（エアコンディショナー、冷暖房機器）等の使用により、電圧が著しく低下する場合がありますから、家庭用100V電源が正しく出力されているかどうかテスターで確認しましょう。また、長時間本機を使用しない場合は、本機の電源コードをコンセントから抜いておきましょう。

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。

クリーナーやシンナーは使用しないでください。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないでください。記載外の使用方法で本機を使用されると製品不良が発生する場合が考えられます。必ず本書に基づいた使用方法で使用してください。

記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行ってください。

万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。

一般のお問い合わせ ⇒ ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。
商品の修理について ⇒ ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

1-1. 主な特徴

EFX MK-VI は、プロフェッショナルプレーヤーが必要なスイッチング & MIDI 機能を網羅した究極のオーディオ・コントローラーです。

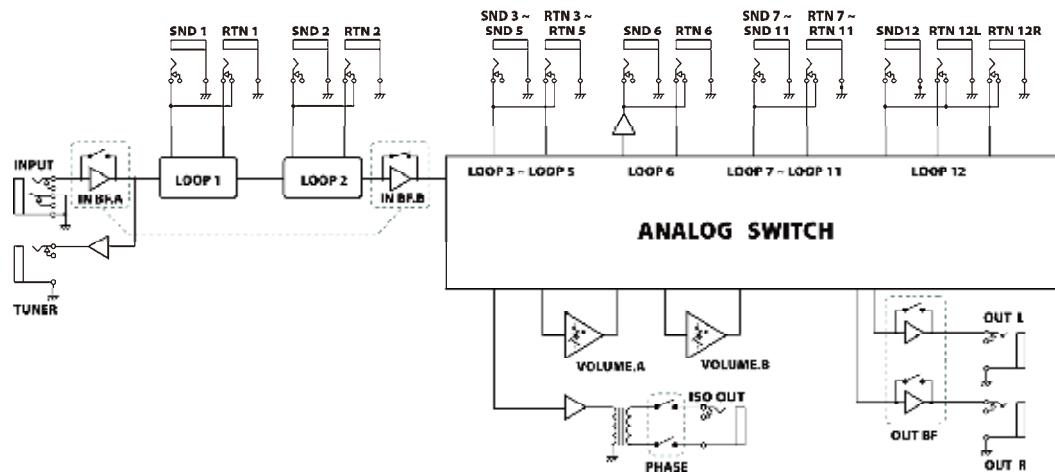
Editor アプリのリリースを 2021 年 12 月～2022 年 1 月頃のリリースを予定しております。エディターが完成すると、プリセット毎の MIDI 設定 (CC、PC & エクスプレッション)、ループの入れ替え、ボリュームループ等、複雑なプログラミングも PC/Mac と直接接続して簡単に行えます。さらに、保存したファイルはアップロード、ダウンロードが可能です。

- 11 モノループ & 1 モノセンド / ステレオリターンループのトータル 12 オーディオループを備えています。
- プリセット毎にループの接続順序が設定できます。(ループ 1 & 2 は固定)
- 入力バッファー、出力バッファー、Loop 6 バッファーの 3 つのバッファーを備えています。各バッファーのオン / オフは IA スイッチまたはプリセットでの設定が可能です。
- 2 x インターナル Vol. コントローラー。このボリュームはプリセット切り替え時の音のキャリーオーバーにも使用します。ボリューム設定値はプリセット毎にセーブ可能です。
- 2 x TRS ジャックを使用した 4 x スイッチング機能も備えています。アンプ等の外部スイッチングが可能です。
- 900 プリセット (180 バンク x 5 プリセット) & 1 グローバルプリセット
- 900 のソング設定が可能です。
- 900 ソングは 64 セット x 120 ソングにも設定できます。
- ユーザー仕様にアサイン可能なスイッチ
- 切り替え時のポップノイズを低下するクリック - レス機能を備えています。
- ハムノイズや位相の問題を回避する ISO アウトを装備しています。(トランスアイソレーション)
- プリセット毎に 16 x MIDI (PC、CC、Note 等) メッセージの送信が設定可能です。スイッチが Page にアサインされている場合は、8 x MIDI (PC、CC、Note 等) メッセージを送信します。
- MIDI タイムクロックの送信、機能スイッチと同期できます。MIDI 機能を備えたエフェクターと同じように、外部 TAP ジャックを備えたエフェクターとのタイム同期が可能です。BPM はバンクプリセットとソングプリセットに保存できます。
- 2 フットスイッチが XPD リモコンに接続できます。
- PC または Mac への USB 接続が可能です。
- プリセット、ソング、セット、スイッチのコピーが簡単にできます。
- グラフィック LCD ディスプレイでプリセットやソングタイトルが表示できます。
- 信頼性の高い堅牢なフットスイッチを採用。

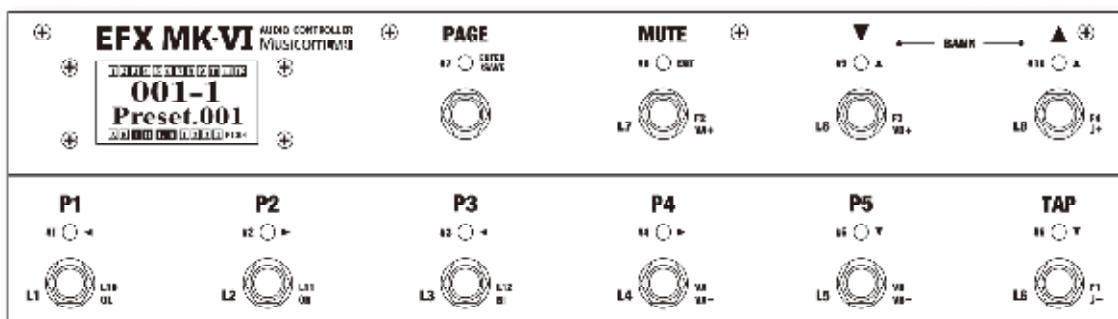
1-2. スペシフィケーション

- バッファー・インピーダンス 1 M Ω
- バッファー・出力インピーダンス 100 Ω
- ボリュームコントロール入力インピーダンス 1 M Ω / 44k Ω
- ボリュームコントロール出力インピーダンス 100 Ω
- ノーマルオーディオ信号レベル -10dBu
- 最大オーディオ信号レベル +18dBu
- 消費電流 250 mA (DC9V Center Negative)
- サイズ 388mm(W) x 110mm(D) x 68mm(H)
- 重量 1.4Kg

1-3. ブロックダイアグラム



1-4. フロントパネル



P1 ~ P5 スイッチ

ページ 1 では、5 プリセットの中から 1 つをリコールに使用します。他のページでは、これらのスイッチは各ループのオン / オフ、ファンクションスイッチ、出力、バッファーのスイッチングを行います。

TAP スイッチ

この TAP スイッチは、MIDI タイムクロックとの同期やファンクションスイッチ (F1 ~ F4) として使えます。ファンクションスイッチは、アナログタップテンポ入力だけのデバイスに使えます。また、タップスイッチの入力操作で MIDI タイムクロックや F1 ~ F4 のタップレイトが変わります。グローバル BPM はタップ入力されたテンポに変更され、現バンクまたはソングのプリセット BPM は無視されます。EFX MK-VI が電源投入された時のグローバル BPM は 120 です。

ページ

このスイッチを押すと、各ループのオン / オフ、セッティングの保存ができる他ページへ移動します。このスイッチを 1 秒以上長押しすると、IA エディットが保存されページ 1 へ戻ります。ファクトリーセッティングは 4 ページ用意されています。ユーザーの選択で 8 ページまで使用できます。

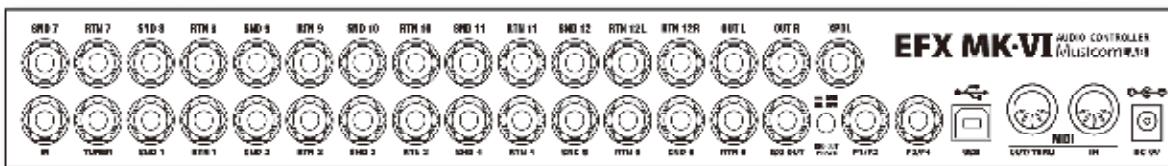
ミュート

L&R の出力信号をオン / オフします。

BANK ▲ & BANK ▼ (バンクのアップ / ダウン)

900 のプリセットは 180 バンクから形成されています。これら 2 つのスイッチでそのバンクを選択できます。両アップ / ダウンスイッチでバンクにアクセスしてください。

1-5. リアパネル



IN ギターを接続するメイン入力です。

TUNER 外部チューナーに接続します。

SND 1 ~ 11 & RTN 1 ~ 11

これらはモノセンド、モノリターンのエフェクトループです。SND 1 ~ 11 はエフェクターへ信号を送り、RTN 1 ~ 11 はエフェクターからの信号を受けます。SND 1 ~ 11 ジャックと各エフェクターの入力と接続し、RTN 1 ~ 11 ジャックと各エフェクターの出力と接続します。SND 6 はバッファード信号です。このセンドはボリュームペダルとの接続、またはシステムのインピーダンスを低く保つのに適しています。1.3 のブロックダイヤグラムを参考にして下さい。

SND 12、RTN 12L & RTN 12R

これらはモノセンド、ステレオリターンのエフェクトループです。ステレオ信号チェーンの始まりに使います。RTN 12 はモノリターンでも使用できます。詳しくは 4.5.2 オーディオ > ループ 12 リターンをご覧ください。

OUT-L、OUT-R

これらは出力ジャックです。OUT-L & OUT-R はそれぞれオン / オフが可能です。最終段がモノ接続の場合は、OUT-L 信号を OUT-R にも出力できます。

ISO-OUT ジャック & ISO PHASE スイッチ

ISO-OUT ジャックの前にトランスを備えています。このトランスは、アンプの 2 台使用または 4CM (4 ケーブルメソード / Cable Method) を使用する場合に発生するハムを減少します。この場合、ISO-OUT 出力は位相が反転するため、ISO OUT PHASE スイッチを押してください。4.5.2 オーディオ > アイソレート出力をご覧ください。

F1/F2、F3/F4

ラッチ、モーメンタリーの両スタイルのスイッチングに使えます。アンプやエフェクターのスイッチングに使用します。BPM テンポへのアサインも可能です。

詳しくは、4.5.2 オーディオ > Func1 ~ Func4 と、6.2 ファンクションスイッチのフットスイッチ機能をご参照ください。

XPDL

エクスプレッション、タップテンポスイッチに使用できる 1/4"TRS ジャックです。LED 付きタップスイッチを使用する場合は、TRS ケーブルを電源オンの前に接続してください。詳しくは 6.1 XPDL のセクションをご参照ください。

USB

PC や Mac に接続し、データの送受信やファームウェアのアップデートに使用します。ドライバーソフトの必要はありません。(エディターアプリは、2021 年 12 月～2022 年 1 月頃のリリースを予定です。)

MIDI IN、MIDI OUT/THRU

MIDI IN は MIDI メッセージを外部から受信し、MIDI OUT/THRU は外部の MIDI デバイスへ MIDI メッセージを出力します。MIDI THRU に機能が設定されている場合は、IN で受けたメッセージがそのまま出力されます。4.5.1 MIDI > In/Out/Dup.PC を参考にしてください。

DC9V

本機は DC9V/250mA (センターマイナス) の電源が必要です。

1-6. LCD ディスプレイ

① オーディオループステータス

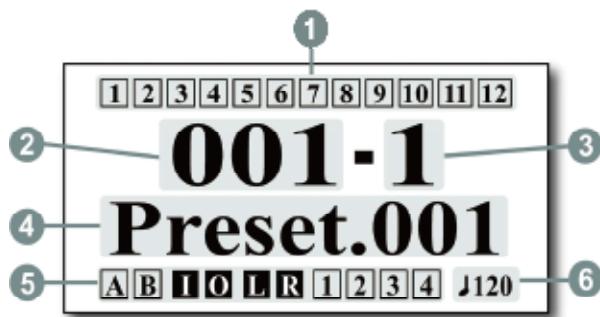
12のオーディオループの動作状況を表示します。

② バンク / ソングナンバー

バンク / ソングナンバーを表示します。

③ プリセットナンバー

バンク / ソング中の現プリセットナンバーを表示します。



④ タイトル

現プリセットのプリセットタイトルを表示します。このエリアには、スイッチが押された直後、スイッチタイトル、ボリューム、BPMが短時間表示されます。

⑤ ボリュームーコントローラー、バッファー、出力、機能のステータス

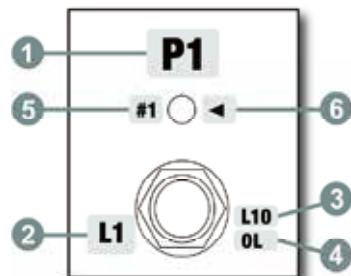
図のようにそれらのステータスが表示されます。

⑥ BPM

BPM 値が表示されます。

1-7. スイッチ周りのキャラクター

- ① ページ 1 にアサインされているスイッチ機能
- ② ページ 2 にアサインされているスイッチ機能
- ③ ページ 3 にアサインされているスイッチ機能
- ④ ページ 4 にアサインされているスイッチ機能
- ⑤ 機能設定ナンバー
- ⑥ セットアップモードで使われるスイッチ機能



2. プリセットモードのベーシック操作

2-1. パワーアップ（電源投入）

本機は DC9V 電源が必要です。電源投入すると、シリアル#、ファームウェア、パワーテスト、モードを表示します。その次に、Bank 01 最初のプリセットが表示されます。本機は 8.4V ~ 9.6V の供給電源で動作します。この範囲から外れた電源が供給されると、故障を避けるため自動的にリセットされます。

アナログサーキットへの電源供給が 2 回ブロックされると、2 クリックサウンドが出力されます。本機からアンプなどへの接続は、このパワーテストが終わった後にしてください。

2-2. ページ 1

本機には 900 プリセットと 1 グローバルプリセットのプリセットがあります。これらは 5 バンクに分割されています。本機に電源投入されるとページ 1 が選ばれ、プリセット 1 & バンク 1 が表示されます。BANK ▲または BANK ▼を長押ししてバンクを切り替え、P1 ~ P5 スイッチの 1 つを押してプリセットを選びます。

プリセットを選択する。

1. BANK スイッチ（アップ / ダウン）で 180 のバンクから選択します。
2. LCD ディスプレイ中のバンクナンバーが点滅し、P1 - P5 スイッチの LED が消えます。
3. P1 - P5 スイッチでプリセットを選びます。
4. LCD ディスプレイ中のバンクナンバーの点滅が止まり、P1 - P5 スイッチの上にある LED がブルーに点灯します。

BPM の変更

TAP スイッチからのタップ入力が、MIDI クロックまたは F1 ~ F4 からテンポを変更します。グローバル BPM は入力されたタップテンポに変更され、LCD の BPM 表示が 2 秒後に変更されます。この変更後、BPM は BANK ▲または BANK ▼で表示値から変更できます。変更後のグローバル BPM は現バンクまたはパッチに反映され、プリセット BPM は無視されます。

ページチェンジ

ページスイッチは 2 つの機能の変更が可能です。短く押すとページナンバーが増え、長押しすると IA コンビネーションの変更がセーブされます。

ミュート / アンミュート

Mute（ミュート）スイッチを押すと、ギター信号をミュート / アンミュートできます。Mute スイッチが IA スイッチにセットされると、L & R 出力をオン / オフ（ミュート / アンミュート）できます。

下表はページ 1 の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
Normal	Preset1	Preset2	Preset3	Preset4	Preset5	TapTempo	Page+	IA(MUTE)	BANK-	BANK+
Hold	None	None	None	None	None	None	IA Store	None	BANK-	BANK+

2-3. ページ 2

各ループの on/off

ページ 2 中のアサインされているスイッチでオーディオループ L1 ~ L9 をそれぞれオン / オフできます。下表はページ 2 の各スイッチ機能です。

下表はページ 2 の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
Normal	L1	L2	L3	L4	L5	L6	Page+	L7	L8	L9
Hold	None	None	None	None	None	None	IA Store	None	None	None

2-4. ページ 3

各オーディオループの on/off

ページ 3 中のアサインされているスイッチでオーディオループ L10 ~ L12 をそれぞれオン / オフできます。

2つのボリュームコントローラーの on/off

ページ 3 中のアサインされているスイッチで、ボリュームコントローラー (Volume.A & Volume.B) がそれぞれオン / オフできます。

各ファンクションスイッチの on/off

ページ 3 中のアサインされている各ファンクションスイッチ (F1 ~ F4) がそれぞれオン / オフできます。下表はページ 3 の各スイッチ機能です。

下表はページ 3 の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
Normal	L10	L11	L12	Vol.A	Vol.B	F1	Page+	F2	F3	F4
Hold	None	None	None	None	None	None	IA Store	None	None	None

2-5. ページ 4

インプットバッファーの on/off

ページ4中のアサインされているスイッチで、入力インプットバッファーのオン / オフが可能です。

2 出力の on/off

ページ4中のアサインされているスイッチで OUT L & OUT R のオン / オフが可能です。

2ボリューム値の調整

ページ4中のアサインされているスイッチで Vol.A & Vol.B の上下が可能です。

BPM の調整

ページ4中のアサインされているスイッチでプリセット BPM 値の上下が可能です。

下表はページ 4 の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
Normal	Input Buffer	OUT L	OUT R	Vol.A-	Vol.B-	Pst. BPM-	Page+	Vol.A+	Vol.B+	Pst.BPM+
Hold	None	None	None	Vol.A-	Vol.B-	Pst. BPM-	IA Store	Vol.A+	Vol.B+	Pst.BPM+

2-6. ページ 5

アウトプットバッファーの on/off

ページ5中のアサインされているスイッチで、アウトプットバッファーのオン / オフが可能です。ファクトリーデフォルト設定では、ページ4でスクロールアップ / ダウンできます。詳しくは 4.5.3 その他 > Max.Page Scrl をご参照ください。

下表はページ 5 の各スイッチ機能です。

	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8	SW9	SW10
Normal	Output Buffer	None	None	None	None	None	Page+	None	None	None
Hold	None	None	None	None	None	None	IA Store	None	None	None

3. セットモード

本機は 900 ソングのメモリーが可能です。ソングは 5 プリセット（最大 9 プリセット）のグループからなり、その中から特定のソングが選べます。ソング中のプリセットは 900 プリセットの中から選べます。詳しくは 4.2.1 ソングのエディットをご参照ください。

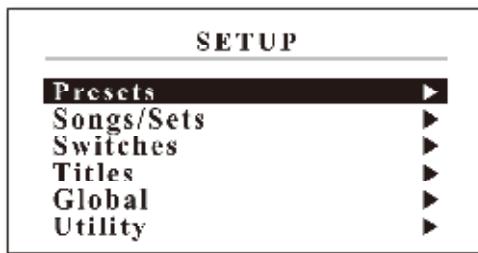
セット設定モードでは最大 120 ソング(900 ソングから順番をアレンジできます。)が設定できます。本機には 64 の異なるセットが設定できます。詳しくは 4.2.2 エディットセットをご参照ください。

セットモードでの各スイッチはプリセットモードと同機能で動作します。

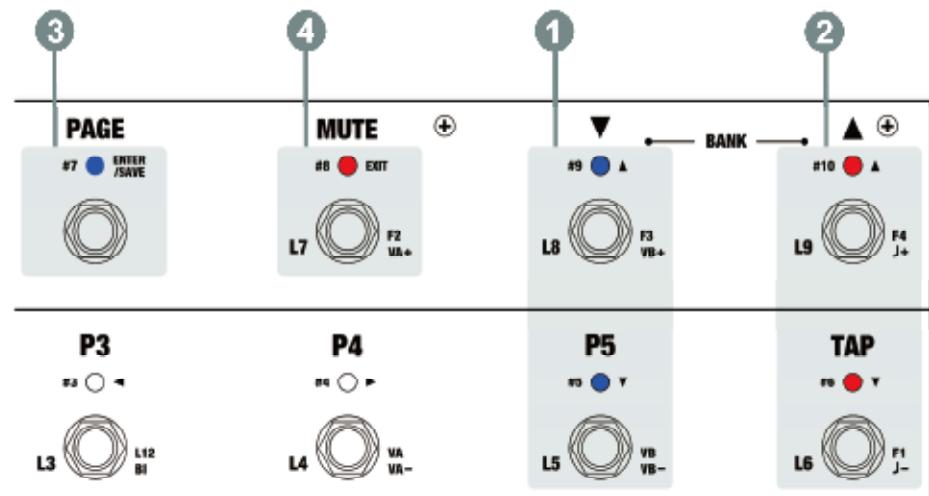
BANK ▲と BANK ▼スイッチは、バンクではなくソングからソングの移動に使います。

4. セットアップモード

SETUP モードに入るには、#7(PAGE) と #10(BANK ▲) スイッチを同時に押します（ページ 1 中）。
すると図のように LCD 表示が変わります。



下図はセットアップモード中の一般的なスイッチ機能です。



SETUP モードに入るには、#7(PAGE) と #10(BANK ▲) スイッチを同時に押します（ページ 1 中）。
すると図のように LCD 表示が変わります。

1. **SW#5 & SW#9** - メニューのアップ / ダウン
2. **SW#6 & SW#10** - メニュー内のパラメーターの増減
3. **SW#7**

押す：選択したメニューのサブメニューに入る。

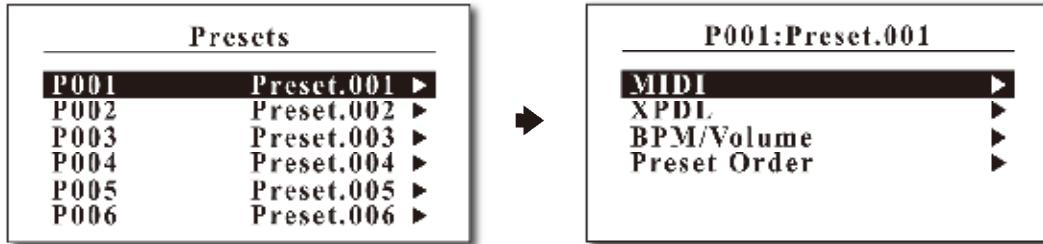
長押し：変更の保存、ユーティリティではコピーの開始またはファクトリーセットを行います。

選んだメニューの右サイドにある 3 角のキャラクターが、サブメニューへの出口です。

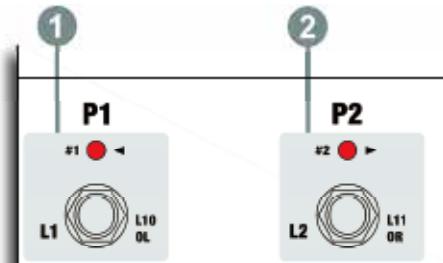
4. **SW#8** - 前メニューへ戻ります。

4-1. プリセット

エディットしたいプリセットを選びます。プリセットタイトルも表示され、プリセットを選ぶのに便利です。
LCD はサブメニューへ移動します。

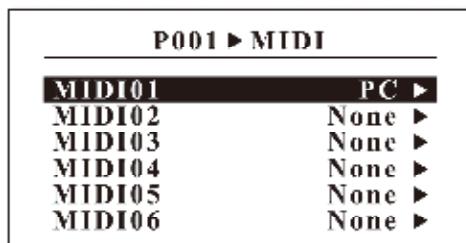


#1 & #2 スイッチで他のエディットしたいプリセットへ移動できます。
前のメニューに戻りプリセットを移動する必要はありません。



4-1-1. MIDI

本機はプリセットをリコールする度に 16 の MIDI メッセージを送ることができます。16 の MIDI メッセージは、下図のように MIDI 01 ~ MIDI 16 の異なるメッセージ (PC、CC、Note On/Off、SysEx) が選んだプリセットで設定できます。



None

MIDI メッセージを送りません。

プログラムチェンジ

Device/ デバイス : プログラムチェンジを受けるデバイスを選びます。

PC# : プログラムナンバーを送ります。

※ 詳しくは 4.5.2 MIDI > デバイスをご参照ください。

CC (コントロールチェンジ)

Device/ デバイス : プログラムチェンジを受けるデバイスを選びます。

CC# : コントロールナンバーを選びます。

Value : コントロールナンバーバリューを選びます。

ノート オン / オフ

Device : ノート オン / オフを受けるデバイスを選びます。

Note# : ノートナンバーを選びます。

Velocity : ベロシティを選びます。

システムリアルタイム

Message : 次の1つを選びます。: None、Start、Continue、Stop SysEx (System Exclusive)

Message : 64のシステムエクスクルーシブの1つを選びます。

※ 4.5.2 MIDI > SysEx をご参照ください。

ディレイ

タイム : 次のMIDIメッセージを送るまで、99msecのポーズを入れることが選択できます。一部のMIDIデバイスには、連続的なMIDIメッセージを認知することができないものがあります。この問題を解決する方法として、このディレイが使用できます。

4-1-2. XPDL

現プリセットのXPDLを決定します。

エクスプレッションまたはフットスイッチの使用に関する内容は、4.5 Global > XPDLをご参照ください。

P001 ► XPDL	
Select	Preset
Device	Device.01
CC#	None
Max.Value	127
Min.Value	000
Beg.Value	None

セレクト

Global : プリセットがリコールされると、グローバルセッティングとしてXPDLが動作します。

Preset : プリセットがリコールされると、現プリセットセッティングとしてXPDLが動作します。

Device - XPDLでコントロールチェンジを受けるデバイスを選びます。

CC# (CC Number) - 送るコントロールナンバーをセレクトします。

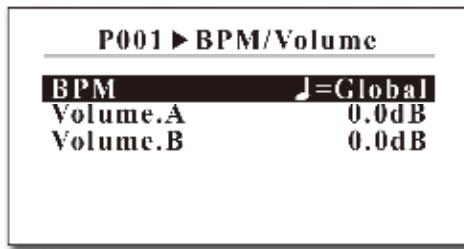
Max.Value - ペダルを動かした際の最も高いコントローラーバリューです。

Min.Value - ペダルを動かした際の最も低いコントローラーバリューです。

Beg.Value (Begin Value) - プリセットがリコールされた際、最初に送られるバリューです。

4-1-3. BPM/Volume

このメニューは BPM と 2 ボリュームバリューが設定できます。
BPM はグローバル BPM とプリセット BPM がセットできます。



BPM

Global : プリセットがリコールされるとグローバル BPM がセットされます。40 - 209 : BPM 設定値がプリセットリコール時に選ばれます。

Volume.A & Volume B - ボリュームの設定値が決められます。(min:-48.5dB max:+15.0dB、0.5dB steps)

各ボリュームコントローラーはオーディオループのようにバイパスできます。ボリュームコントローラーの使用時は、IA スイッチ (Vol. A/B) をオンにしてください。

4-1-4. ループオーダー

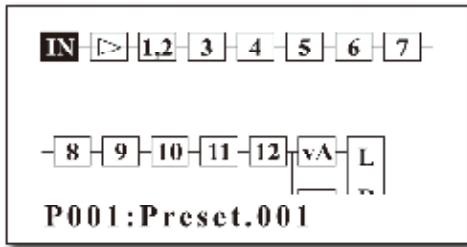
このメニューはループ順序と信号ルーティングが設定できます。

- エフェクトループの接続順を変更します。
- スプリット接続が作れます。
- キャリーオーバーが設定できます。

Symbol	Description	Symbol	Description
[IN]	Input		
[▷]	Input Buffer	L R	Two Outputs (Left/Right)
[1,2]	Loop 1 and Loop 2		
[3] [4] [12]	Loop 3 - Loop 12 (mono-send/return)	12	Loop 12 (mono-send/stereo-return)
[vA] [vB]	Volume-controller A and B		

信号ルーティングの変更には次の制限があります。

- 入出力は移動できません。
- 入力バッファーとループ 1、2 は入れ替えしかできません。
- 信号を一度スプリットすると、さらにスプリットすることはできません。
- 特定のループにキャリーオーバー機能を使う時は、ボリュームコントローラー (vA or vB) を次のポジションに入れてください。この設定はクロスシンボルで表示されます。



プリセットオーダーでのスイッチ機能は以下のように表示されます。

SW#1 & SW#2 - ハイライトエリアを移動してオーディオループを選びます。ハイライトエリアを IN にすると表示のボトムにプリセット名が表示されます。#5 & #9 スイッチで他のプリセットへ移動できます。

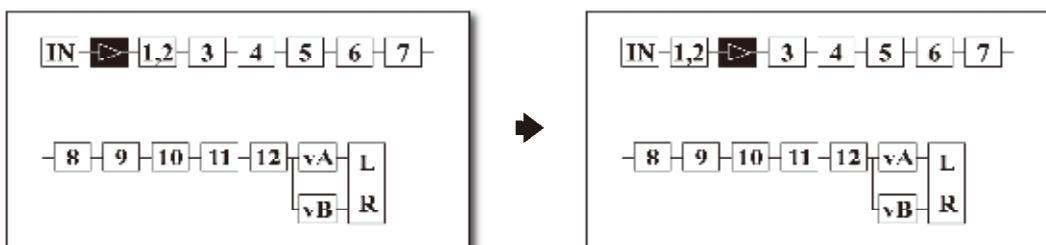
SW#3 & SW#4 - オーディオループを左右に移動できます。

SW#5 & SW#9 - オーディオループをアップ / ダウン移動できます。

SW#6 - キャリーオーバーのループが選択できます。既に設定されている場合はそれを解除します。

SW#10 - 信号スプリットを設定できます。既に設定されている場合はそれを解除します。

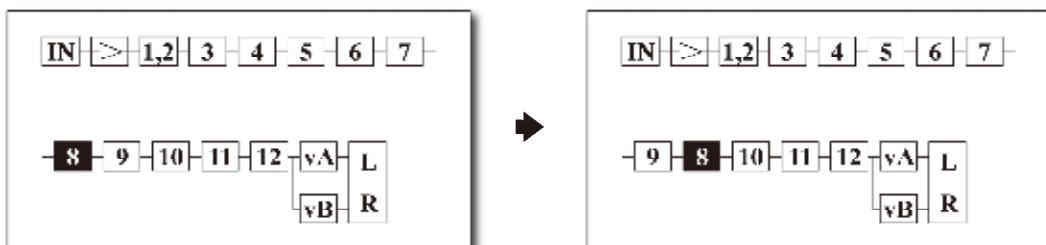
Ex1) ループ 3 の前にバッファーを移動する。



ハイライトされた入力バッファーをスイッチ #4 で右に移動します。

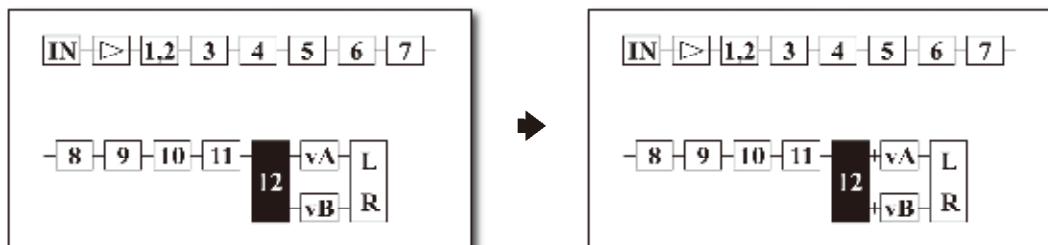
ループ 1 と 2 の間にファズペダルを挿入する際に有効です。

Ex2) ループ 8 をループ 9 の隣に移動する。



ハイライトされた入力バッファーをスイッチ #4 で右に移動します。

Ex3) ステレオループ 12 をキャリーオーバーに設定する。

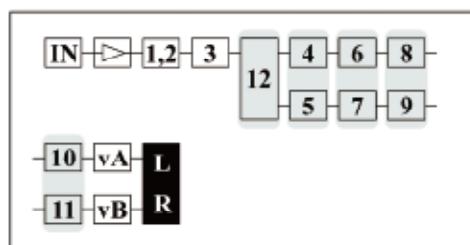


まず、ループ 12 のリターンをモノからステレオに変更します。

4.5.2 オーディオ > ループ 12 リターンをご参照ください。

ハイライトされたループ 12 をスイッチ #6 でキャリーオーバーに変更します。

Ex.4) 2 モノループを 1 ステレオとして使う。



5 x ステレオループまで変更可能です。

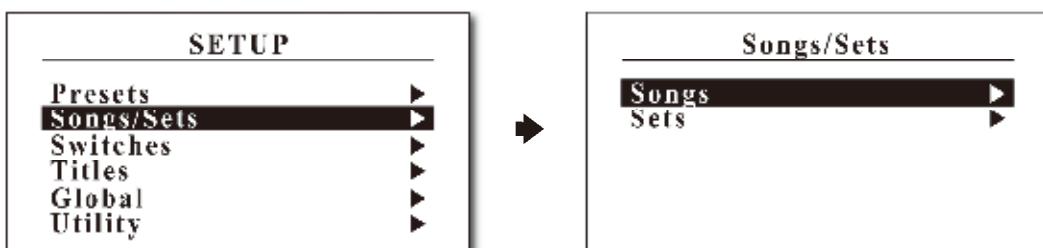
2 x オーディオループを 1 x IA スイッチにアサインできます。

4.3.2 IA スイッチとしてアサインする > オーディオをご参照ください。

4-2. ソング / セット

ソング / セットメニュー (Songs/Sets) は、プリセットを集めて「ソング」としてエディットできるように、カスタムバンクとして整理できます。複数の「ソング」はバンク内でセットを組むためにアレンジできます。メイン SETUP メニューから

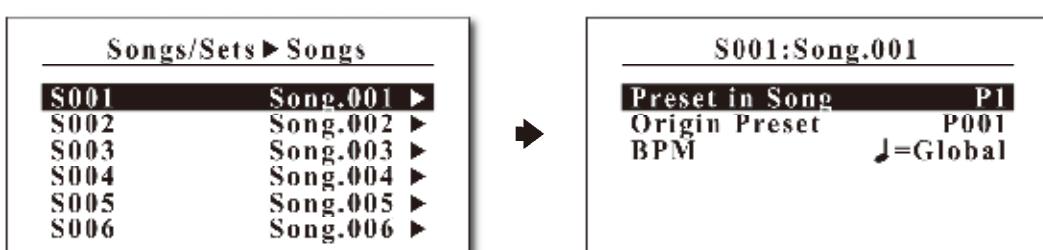
Songs/Sets を選び、「ソング」や「セット」がエディットできるサブメニューに移動できます。サブメニューは LCD に表示されます。



4-2-1. ソングのエディット

エディットしたいソングを選びます。

選びやすいようにソングタイトルが一緒に表示されます。サブメニューは LCD に表示されます。



Preset in Song (ソング内のプリセット) - エディットされるプリセットです。 (~ P9)

Origin Preset (オリジナルプリセット) - ソング内に使われているオリジナルプリセットナンバー (P001 ~ P900)

BPM

Global : プリセットがリコールされるとグローバル BPM がセットされます。

40 - 209 : BPM 設定値がプリセットリコール時に選ばれます。

このメニューからエディットしたい他のソングへも #1 & #2 スイッチで移動できます。

前メニューへ移動してエディットする手間が省けます。

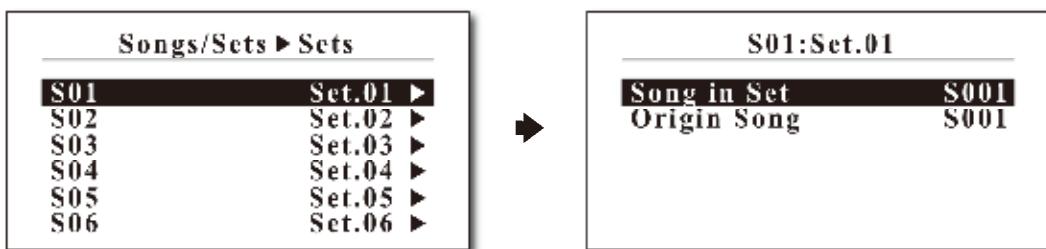
SW#1 - ソングナンバーを 1 つ減らせます。

SW#2 - ソングナンバーを 1 つ増やせます。

4-2-2. エディットセット

エディットしたいセットを選びます（セットタイトルも一緒に表示されます。）。

LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。



Song in Set/ セット中のソング - セット S001 ~ S120 中のソングをエディットします。

Origin Song/ オリジナルソング - セットで使われているオリジナルソングナンバー S001 ~ S900 です。

このメニューから、エディットしたい他のセットへ #1 & #2 スイッチで移動します。

SW#1 - セットナンバーが 1 つづつ減ります。

SW#2 - セットナンバーが 1 つづつ増えます。

4-3. スイッチ

このスイッチメニューで、各ページでアサインされたスイッチの機能を設定します。最大 8 ページまで完全に異なるスイッチ機能が設定できます。また、それらの機能は、スイッチの踏み方（通常早押し /Normal と長押し /Hold）で機能を変えることも可能です。ファクトリーデフォルトでは、5 ページの各スイッチ機能が下表のようにレイアウトされています。

		SW#1	SW#2	SW#3	SW#4	SW#5	SW#6	SW#7	SW#8	SW#9	SW#10	SW#11	SW#12
Page1	Normal	P1	P2	P3	P4	P5	Tap	Page+	Mute	Bank-	Bank+	X	X
	Hold	X	X	X	X	X	X	Store	X	Bank-	Bank+	X	X
Page2	Normal	P1	P2	P3	P4	P5	L6	Page+	L7	L8	L9	X	X
	Hold	X	X	X	X	X	X	Store	X	X	X	X	X
Page3	Normal	L10	L11	L12	VA	Vol.B	F1	Page+	F2	F3	F4	X	X
	Hold	X	X	X	X	X	X	Store	X	X	X	X	X
Page4	Normal	OL	OR	BI	VA-	VB-	P.BPM-	Page+	VA+	VB+	P.BPM+	X	X
	Hold	X	X	X	VA-	VB-	P.BPM-	Store	VA+	VB+	P.BPM+	X	X
Page5	Normal	BO	X	X	X	X	X	Page+	X	X	X	X	X
	Hold	X	X	X	X	X	X	Store	X	X	X	X	X

SW#11 & SW#12 は XPDL に接続された外部フットスイッチです。

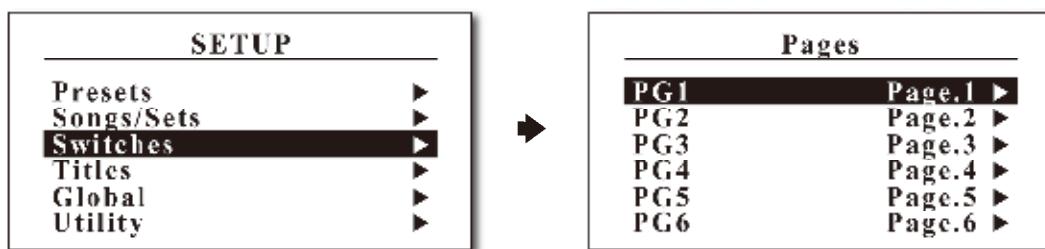
詳しくは、4.5.1 MIDI > XPDL と 6.1 XPDL をご参照ください。

スイッチは下記の表にある機能にアサインできます。

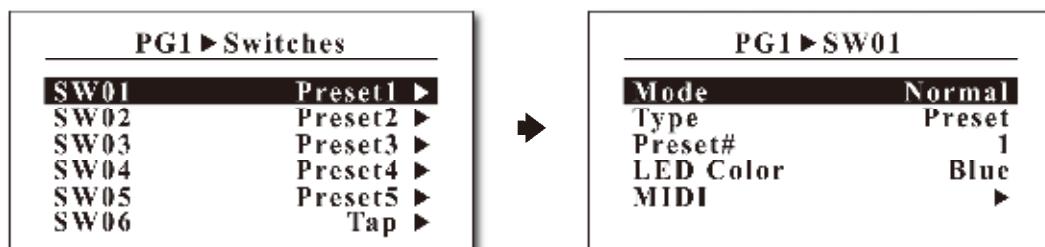
None	機能なし
Preset	プリセットの選択
IA	特定機能の on/off スイッチング、IA (Instant Access/ インスタントアクセス)
Tap Tempo	BPM 変更のタップスイッチング
IA Store	IA スイッチコンビネーションの保存
Goto Page	特定ページへの移動
Page+	ページナンバー増
Page-	ページナンバー減
Bank+	バンクナンバー増
Bank-	バンクナンバー減
Inc+	指定パラメーターナンバー増
Dec-	指定パラメーターナンバー減
Volume. A+	0.5 dB ステップでの Volume.A バリュー増
Volume. A-	0.5 dB ステップでの Volume.A バリュー減
Volume. B+	0.5 dB ステップでの Volume.B バリュー増
Volume. B-	0.5 dB ステップでの Volume.B バリュー減
Pst.BPM+	プリセット BPM 増
Pst.BPM-	プリセット BPM 減

プリセットと IA スイッチは長押し (Hold) タイプのアサインはできません。

メイン SETUP メニューから Switches メニューを選択すると、
スイッチのエディットを行うページをサブメニューから選べます。ページタイトルも表示されます。



エディットしたいスイッチを選ぶと、詳細がエディットできるサブメニューへ移動します。スイッチタイトルも表示されます。

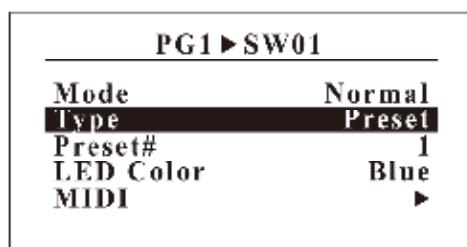


Mode - スイッチの押し方で2つのスイッチングが選択できます。:

Normal (早押し) : 通常の早押し

Hold (長押し) : 1秒以上の長押し

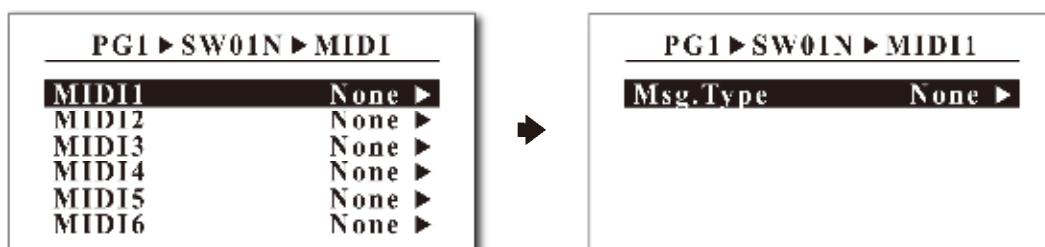
4-3-1. プリセットスイッチとしてアサインする



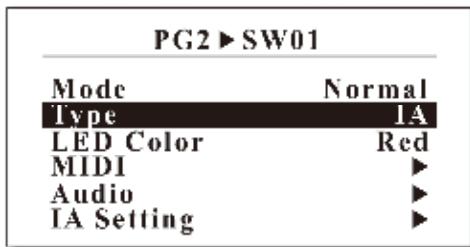
Preset# - バンクまたはソングのプリセットナンバーのスイッ칭ング (1 ~ 9)

LED Color - スイッチング時に点灯するLEDのカラー指定 (なし、ブルー、レッド、パープル)

MIDI - 本機はスイッチが押される度に 8 x MIDI メッセージ (MIDI01 ~ MIDI08) が送れます。詳しい設定方法は 4.1.1 MIDI をご参照ください。

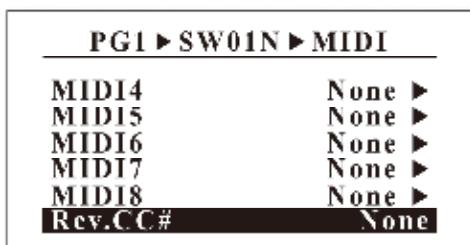


4-3-2. IA スイッチとしてアサインする

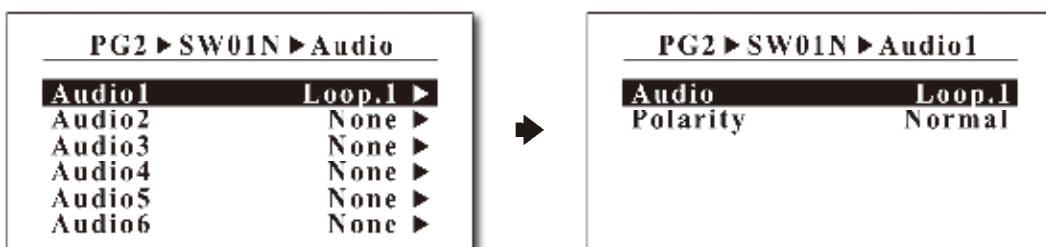


LED Color - スイッチング時に点灯する LED のカラー指定（なし、ブルー、レッド、パープル）

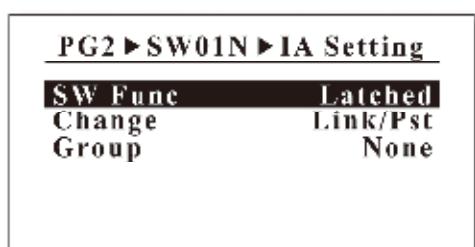
MIDI - MIDI 設定は前のプリセットと同じです。Rcv.CC# (CC# の受信) は MIDI メニューの一番下、IA スイッチにあります。受ける CC メッセージは IA スイッチでコントロールできます。Rcv.CC# は 80 ~ 127 が受けられます。



Audio (オーディオ) - IA スイッチには 8 種類のオーディオアクションがアサインできます。これらは Audio 1 ~ Audio 8 に表示されます。



IA セッティング - IA スイッチの特性が設定できます。



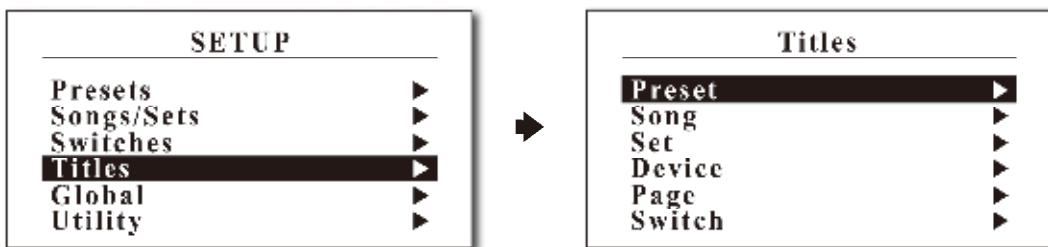
Sw Func	Latched	ラッチスイッチング
	Momentary	モーメンタリースイッチング
Change	Link/Pst	新プリセットのリコール時、イニシャルパリューはセーブされている IA パリューと同じです。
	Clr/Pst	新プリセットのリコール時、イニシャルパリューはオフです。
	NC/Pst	新プリセットのリコール時の変更なし
Group	IA	スイッチの所属グループ

4-3-3. 他のスイッチとしてアサインする

スイッチのアサイン方法はプリセットや IA スイッチと同じです。

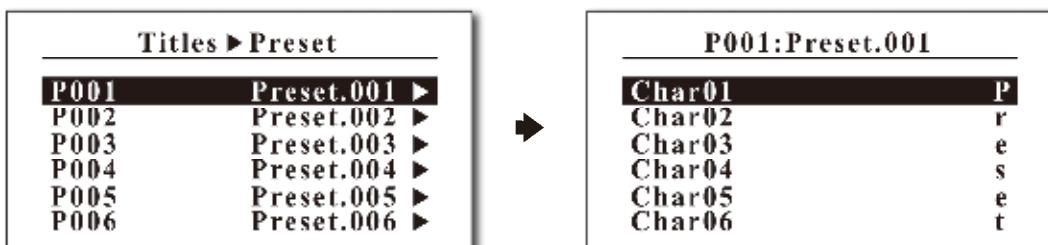
4-4. タイトル

Titles/ タイトルメニューでは、各プリセット、ソング、セット、デバイス、スイッチのカスタムタイトルが入力できます。各カスタムタイトルには 16 キャラクターが使用できます。メイン SETUP メニューからタイトルメニューに入り、サブメニューに移るとタイトルがエディットできます。LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。



4-4-1. プリセットタイトル

プリセットを選ぶと、タイトルがエディットできます。LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。



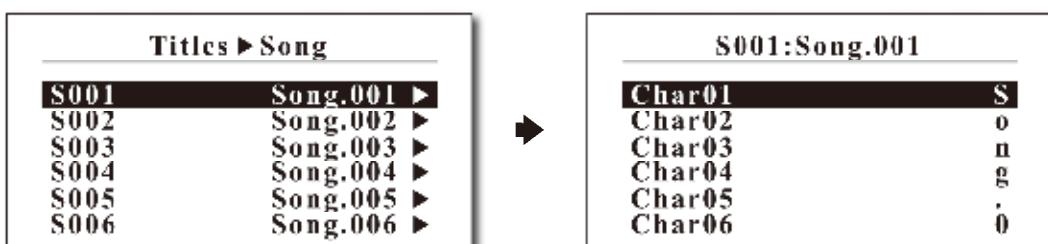
SW#1 & SW#2 - ソングナンバーを 1 つづつ増減できます。

SW#5 & SW#9 - メニュー項目がアップ / ダウンできます。

SW#6 & SW#10 - キャラクターを移動 / スクロールできます。

4-4-2. ソングタイトル

ソングを選ぶと、タイトルがエディットできます。LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。



SW#1 & SW#2 - ソングナンバーを 1 つづつ増減できます。

SW#5 & SW#9 - メニュー項目がアップ / ダウンできます。

SW#6 & SW#10 - キャラクターを移動 / スクロールできます。

4-4-3. セットタイトル

セットを選ぶと、タイトルがエディットできます。LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。

The diagram shows a flow from left to right. On the left is a menu titled "Titles ▶ Set" with items S01 through S06. An arrow points to the right, leading to a submenu titled "S01:Set.01" which contains characters Char01 through Char06.

Titles ▶ Set	
S01	Set.01 ►
S02	Set.02 ►
S03	Set.03 ►
S04	Set.04 ►
S05	Set.05 ►
S06	Set.06 ►

S01:Set.01	
Char01	S
Char02	e
Char03	t
Char04	.
Char05	o
Char06	1

SW#1 & SW#2 - セットナンバーを 1 つづつ増減できます。

SW#5 & SW#9 - メニュー項目がアップ / ダウンできます。

SW#6 & SW#10 - キャラクターを移動 / スクロールできます。

4-4-4. デバイスタイトル

デバイスを選ぶと、そのタイトルがエディットできます。LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。

The diagram shows a flow from left to right. On the left is a menu titled "Titles ▶ Device" with items DV01 through DV06. An arrow points to the right, leading to a submenu titled "DV01:Device.01" which contains characters Char01 through Char06.

Titles ▶ Device	
DV01	Device.01 ►
DV02	Device.02 ►
DV03	Device.03 ►
DV04	Device.04 ►
DV05	Device.05 ►
DV06	Device.06 ►

DV01:Device.01	
Char01	D
Char02	e
Char03	v
Char04	i
Char05	c
Char06	e

SW#1 & SW#2 - デバイスナンバーを 1 つづつ増減できます。

SW#5 & SW#9 - メニュー項目がアップ / ダウンできます。

SW#6 & SW#10 - キャラクターを移動 / スクロールできます。

4-4-5. ページタイトル

ページを選ぶと、そのタイトルがエディットできます。LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。

The diagram shows a flow from left to right. On the left is a menu titled "Titles ▶ Page" with items PG1 through PG6. An arrow points to the right, leading to a submenu titled "PG1:Page.1" which contains characters Char01 through Char06.

Titles ▶ Page	
PG1	Page.1 ►
PG2	Page.2 ►
PG3	Page.3 ►
PG4	Page.4 ►
PG5	Page.5 ►
PG6	Page.6 ►

PG1:Page.1	
Char01	P
Char02	a
Char03	g
Char04	e
Char05	.
Char06	1

SW#1 & SW#2 - セットナンバーを 1 つづつ増減できます。

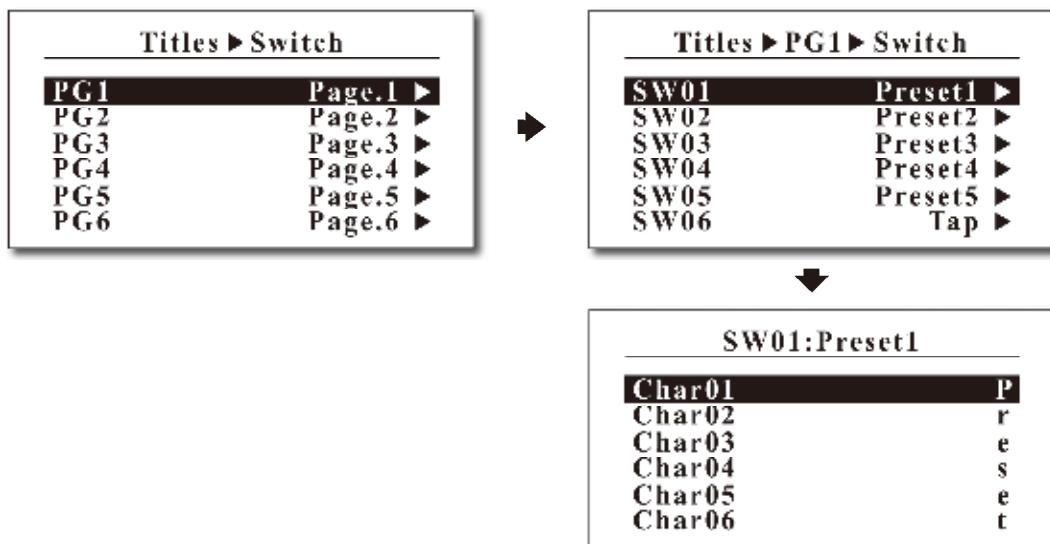
SW#5 & SW#9 - メニュー項目がアップ / ダウンできます。

SW#6 & SW#10 - キャラクターを移動 / スクロールできます。

4-4-5. スイッチタイトル

スイッチがあるページでスイッチを選ぶと、そのタイトルがエディットできます。

LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。



SW#1 & SW#2 - セットナンバーを 1 つづつ増減できます。

SW#5 & SW#9 - メニュー項目がアップ / ダウンできます。

SW#6 & SW#10 - キャラクターを移動 / スクロールできます。

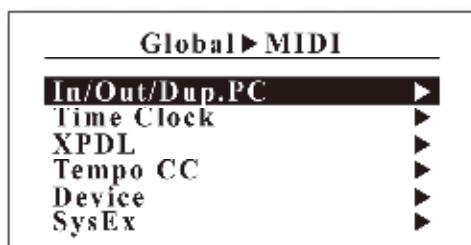
4-5. グローバル

グローバルメニューは、MIDI、オーディオ、その他の全般の機能を決定します。
メイン SETUP メニューから Global を選び、サブメニューへと移動します。
LCD ディスプレイはサブメニューを表示します。

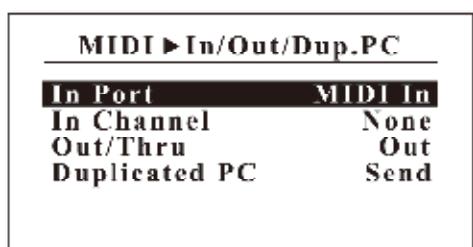


4-5-1. MIDI

MIDI メニューで、以下の 6 項目の機能を設定します。



In/OUT/Dup.PC

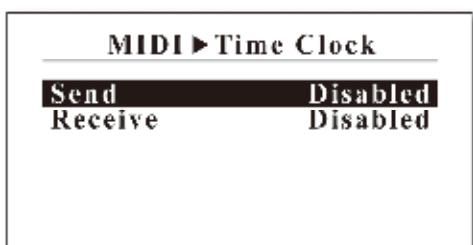


In Port/Channel - 入力される MIDI メッセージの MIDI ポート / チャンネルを指定します。

Out/Thru - MIDI Out に設定された際、本機のコントロールからの MIDI メッセージが output されます。THRU の場合は、MIDI IN で受けたメッセージが output されます。

Duplicated PC - プログラムチェンジが前と同じ場合に、MIDI PC を送るか否かを決定します。

タイムクロック



Send - MIDI クロック出力を MIDI Out、USB、出力しない、から選択します。

Receive - MIDI クロックを受けるか否かを選択します。

MIDI ▶ XPDL	
Source	Expression
Device	Device.01
CC#	None
Max.Value	127
Min.Value	000
Rate	10ms

Source - ジャックへの接続がエクスプレッションまたはフットスイッチを指定します。

Device - メッセージ変更を受けるデバイスを選択します。

CC# - 送るコントロールナンバー (MIDI CC#) を選びます。

Max.Value - 接続されたエクスプレッションペダル動作のコントローラー最大バリュー

Min.Value - 接続されたエクスプレッションペダル動作のコントローラー最小バリュー

Rate - CC 値が変化する最小インターバル

テンポ CC

MIDI ▶ Tempo CC	
Device	Device.01
CC#	None
On.Value	127
Off.Value	000

いくつかの MIDI デバイスは MIDI コントロール CC を受けますが、MIDI TIME CLOCK をテンポメッセージとしては受けません。このページでは MIDI CC をテンポメッセージとして設定できます。

Device - CC メッセージを受けるデバイスを選択します。

CC# - 送る CC# を選択します。

On.Value/Off.Value - ON value を最初に送り、OFF value を次に送ります。

デバイス

本機は 16 デバイスまでセットアップできます。

16 のデバイスは Device01 ~ Device16 と表示され、ポート、チャンネル、PC# オフセット、最大スクロール PC# がアサインできます。



MIDI ▶ Devices	
DV01	Device.01 ▶
DV02	Device.02 ▶
DV03	Device.03 ▶
DV04	Device.04 ▶
DV05	Device.05 ▶
DV06	Device.06 ▶

MIDI ▶ Device01	
Port	MIDI Out
Channel	01
PC# Offset	1
Max.Scr.PC#	128

Port - 各デバイスへ送る MIDI Port (MIDI Out または USB) を選びます。

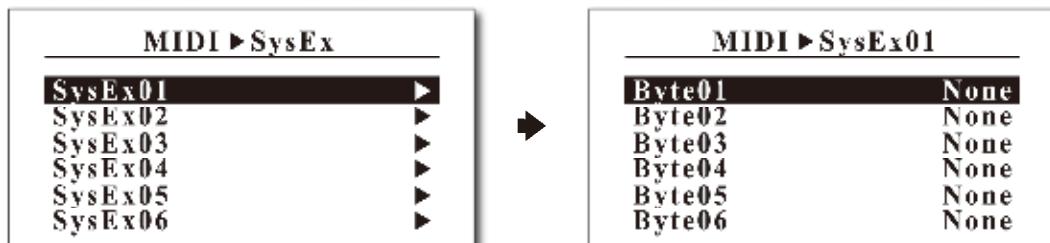
Channel - 各デバイスへ送る MIDI チャンネルを選択します。

PC# Offset - 最小 MIDI プログラムナンバーを 0 または 1 に指定します。

Max.Scr.PC# - プログラムナンバーを上下する際の最大値をセレクトします。

システムエクスクルーシブ

本機には 64 MIDI システムエクスクルーシブスロット（1 つの MIDI システムエクスクルーシブスロットは 16 バイトで最初の F0 と最後 F7 は除く）で構成されている。）まで使えます。MIDI メッセージがプリセットやスイッチが設定されると、システムエクスクルーシブスロットをアサインできます。



4-5-2. オーディオ

Audio メニューは一般的なオーディオ機能からなり、7 つの項目に分割されています。

Global ► Audio	
Clickless	Disabled
Lp12 Rtn	Mono
Func1	Latched
Func2	Latched
Func3	Latched
Func4	Latched
Iso-Out	Out.R

クリックレス

クリックレスコントロールは切り替え時のポップノイズを減少します。
(オーディオループのステータスが変更された時のみ)

Disabled - クリックレスコントロールが動作しません。

Buf/L1/L2 - バッファー、ループ 1 または 2 のステータスが変更された時に、クリックレスコントロールが働きます。

Any Change - オーディオステータスが変更された時、すべて動作します。

ループ 12 リターン

ループ 12 のモノまたはステレオリターンを選択します。

Func1 ~ Func4

Func1 ~ Func4 スイッチはアンプのチャンネルスイッチング等に使用します。

本機は以下の 3 タイプをサポートしています。

Latched - ラッチタイプ

Momentary - モーメンタリータイプ

Tempo Sync - BPM に同期する機能のスイッチ

アイソレート出力

信号をスプリットして ISO-OUT ジャックに出力できます。

None、Lp3 Snd ~ Lp12 Snd、OUT.L または OUT.R が選択できます。

4-5-3. その他

その他メニューでは、以下の8項目が設定できます。

Global ▶ Others	
Op.Mode	Preset
2nd.Press Pst	Glb.Pst
Pst/BankSong	5
Max.Bank	180
Max.Page Scrl	4
Max.Page Exec	5
Page Display	None
LCD Bright	5

Op.Mode (Operating Mode)

Preset モードまたはSET01～SET64 モードのオペレーティングモードを決定します。Set モードではセットタイトルが表示されます。

2nd.Press Pst (2nd Press Preset)

オンのプリセットスイッチを押した場合のグローバルプリセットへの変更の可否を決定します。

Pst/BankSong (Presets per Bank/Song)

バンクまたはソングでのプリセット数を決めます。

Max.Bank (Maximum Bank)

BANK ▲とBANK ▼スイッチでアクセスできるバンク数を決めます。

Max.Page Scrl (Maximum Page Scroll)

Page+ と Page- スイッチでアクセスできるページ数を決めます。

Max.Page Exec (Maximum Page Execute)

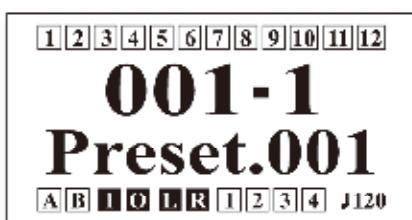
プリセットチェンジの実行時に変更できるページ数を決めます。

Page Display

LCD ディスプレイにページナンバーを表示するかを決定します。

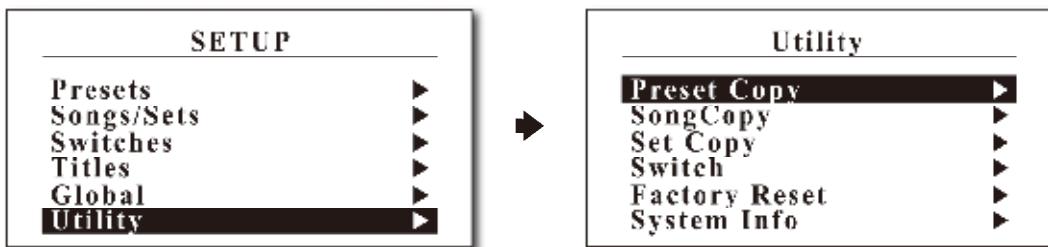
LCD Bright (LCD Brightness)

LCD の明るさ調整を10段階で設定します。



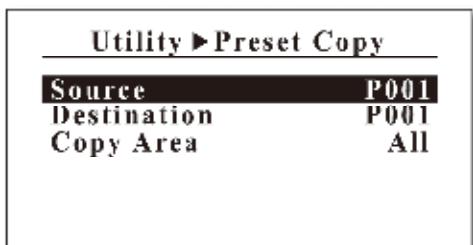
4-6. ユーティリティ

ユーティリティメニューでは、コピー、ファクトリーリセット、システムインフォメーションチェックが実行できます。メイン SETUP メニューから Utility メニューを選び、サブメニューへ移動します。LCD ディスプレイにはサブメニューが表示されます。



4-6-1. プリセットコピー

Preset Copy は他のプリセットへ一部（または全部）のデータをコピーします。



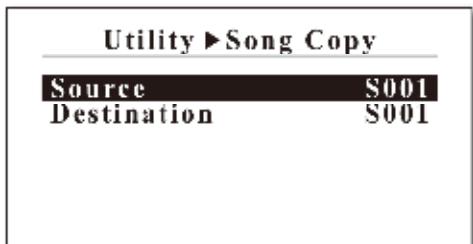
Source - ソースプリセットナンバー (P001 ~ P900)

Destination - コピー先プリセットナンバー (P001 ~ P900、または All)

Copy Area - 一部またはソースプリセットの全部 (All、Audio、MIDI or Title)

4-6-2. ソングコピー

Song Copy は他のソングへ一部（または全部）のデータをコピーします。

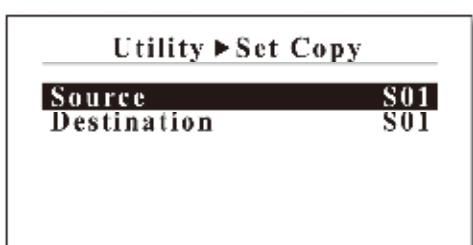


Source - ソースソングナンバー (P001 ~ P900)

Destination - コピー先ソングナンバー (P001 ~ P900)

4-6-3. セットコピー

Set Copy は他のセットへ一部（または全部）のデータをコピーします。

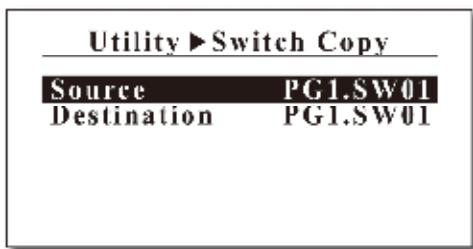


Source - ソースセットナンバー (S01 ~ S64)

Destination - コピー先セットナンバー (S01 ~ S64)

4-6-4. スイッチコピー

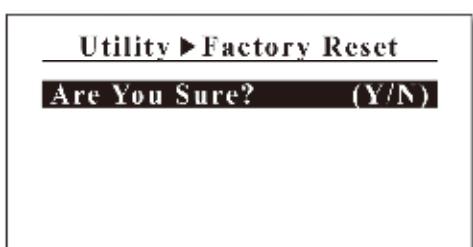
Switch Copy は他のスイッチへ一部（または全部）の設定をコピーします。



Source - ソーススイッチナンバー (PG1.SW01 ~ PG8.SW12)

Destination - コピー先スイッチナンバー (PG1.SW01 ~ PG8.SW12)

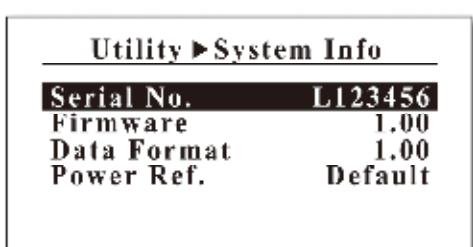
4-6-5. ファクトリーリセット



ファクトリーリセットは内部 EEPROM メモリー内のユーザーデータを削除します。

SW#7 を 1 秒以上長押ししてリセットを始めます。

4-6-6. システムインフォメーション



System Info で使用中の EFX-VI のシステム情報が確認できます。

Serial No. - シリアルナンバー

Firmware - フームウェアバージョン

Data Format - データフォーマットバージョン

Power Ref. - パワーチェックリフレンス

5. ファームウェアアップデート

新たな機能やバグ修正等が行われると、新しいファームウェアがリリースされます。
以下の手順でアップデートを行ってください。

1. まず新しいファームウェアとファームウェアのローダーソフトをこのリンク <http://musicomlab.com/efxmk-vi.htm> からダウンロードし、EFX MK-VI FWLD file を実行します。
2. 本機と PC/Mac を USB ケーブルで接続します。
3. ファームウェアアップデートモードへ入るために、BANK ▲と BANK ▼スイッチを押しながら電源を入れます。
4. 'Connected : EFX MK-VI' のステータスマッセージがファームウェアのローダーソフトに表示されるまで待ちます。



5. OPEN ボタンを押してファイルのロードを始めます。
6. UPDATE ボタンを押すとアップデートが始まります。
 - ・PC/Mac がスリープに入らないようにしてください。
 - ・アップデートには 4 ~ 7 分かかります。

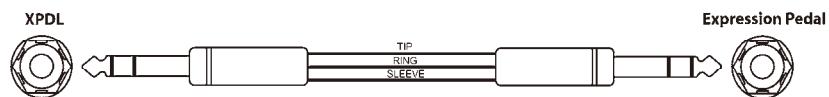
6. ケーブル

6-1. XPDL

XPDL ⇄ エクスプレッションペダル

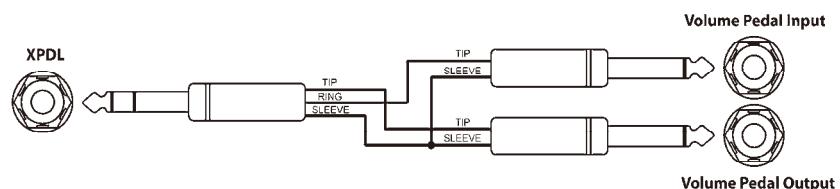
TRS ⇄ ステレオ (TRS) 1/4" ケーブルが必要です。

(アクティブ Vol. ペダルまたはエクスプレッションペダルは使用できません。)



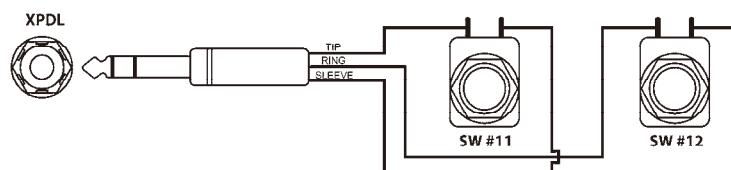
XPDL ⇄ ボリュームペダル

パッシブ Vol. ペダルがエクスプレッションペダルとして使用できます。TRS ⇄ 2モノ 1/4" ケーブルが必要です。チップ側をペダル出力、リング側をペダル入力に接続します。(アクティブ Vol. ペダルまたはエクスプレッションペダルは使用できません。)



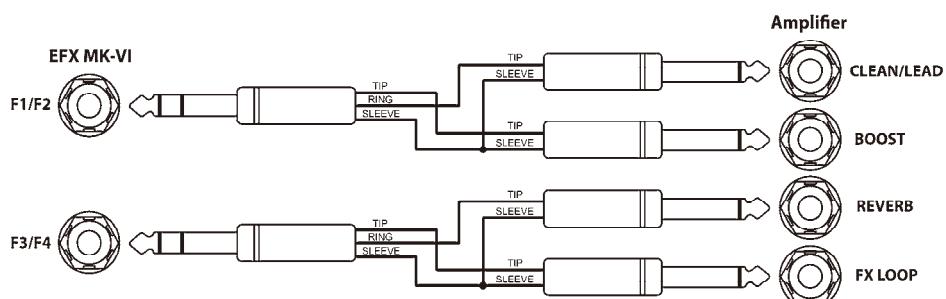
XPDL と 2 フットスイッチ

ノーマリーオープンのモメンタリースイッチが外部スイッチとして使用できます。



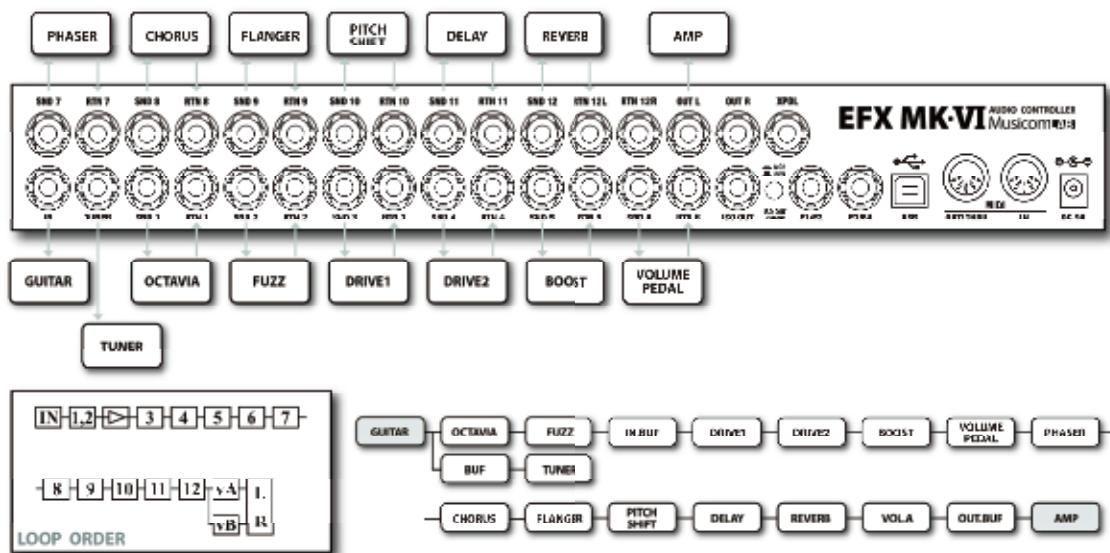
6-2. ファンクションスイッチ

TRS ⇄ 2 x モノ 1/4" フォーンケーブルを使用します。

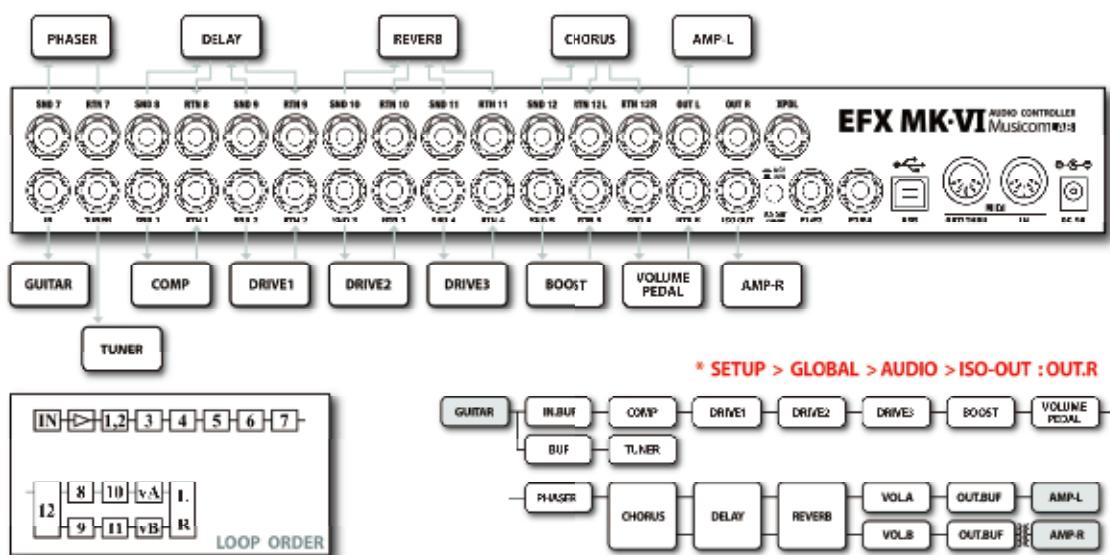


7. 接続例

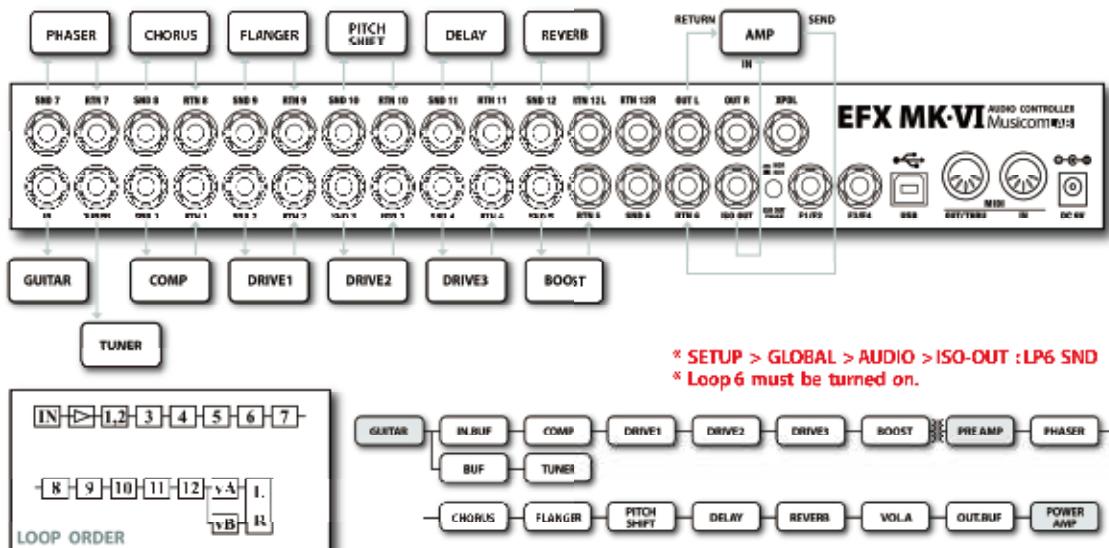
ベーシックなモノ接続例



2ステレオ FX 使用のステレオ接続例



4CM のモノ接続例



8. MIDI スペシフィケーション

MIDI プリセットチェンジ (PC)

PRESET MODE		SET MODE	
CC# : 000 VALUE : 000		CC# : 000 VALUE : 000	
PRESET 001	PC # 001	SONG 001 - P1	PC # 001
PRESET 002	PC # 002	SONG 001 - P2	PC # 002
PRESET 003	PC # 003	SONG 001 - P3	PC # 003
...	...	SONG 001 - P4	PC # 004
PRESET 128	PC # 128	SONG 001 - P5	PC # 005
CC# : 000 VALUE : 001		CC# : 000 VALUE : 001	
PRESET 129	PC # 001	SONG 002 - P1	PC # 001
...
PRESET 256	PC # 128	SONG 002 - P1	PC # 005
...
CC# : 000 VALUE : 006		CC# : 000 VALUE : 118	
PRESET 769	PC # 001	SONG 119 - P1	PC # 001
...
PRESET 896	PC # 128	SONG 119 - P5	PC # 005
CC# : 000 VALUE : 007		CC# : 000 VALUE : 119	
PRESET 897	PC # 001	SONG 120 - P1	PC # 001
PRESET 898	PC # 002	SONG 120 - P2	PC # 002
PRESET 899	PC # 003	SONG 120 - P3	PC # 003
PRESET 900	PC # 004	SONG 120 - P4	PC # 004
		SONG 120 - P5	PC # 005

- CC#000 is MIDI Bank Select MSB message.
- Preset mode : Preset # = (MSB x 128) + PC #
- Set mode : Song # = LSB + 1 , Preset = PC #

Musicom LAB 正規輸入代理店

株式会社 HOTONE Japan

〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE御茶ノ水9F
TEL 03-6820-5823